



2026/2/2

瀧上工業株式会社

## G X スチール「NSCarbolex Neutral」の橋梁工事への採用が決定

当社は、愛知県知立建設事務所の発注工事「緊急防災対策河川工事（鹿乗川 1 号工）（週休 2 日）」【加美橋】（以下、本工事※1）において、G X スチール「NSCarbolex Neutral（エヌエスカーボレックス ニュートラル）」を採用します。

当社は、2050 年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、温室効果ガスの削減等への取り組みを通じ、事業活動による環境負荷の低減を推進しております。その取り組みとして G X スチールの使用を受注後に提案し、本工事への採用が決定しました。

### 「NSCarbolex Neutral」 **3つの初採用！**

- |                           |
|---------------------------|
| 1. 耐候性鋼材として <b>初採用</b>    |
| 2. 愛知県発注工事において <b>初採用</b> |
| 3. 当社受注工事において <b>初採用</b>  |

本工事で採用する「NSCarbolex Neutral」は、日本製鉄株式会社が実際に削減した CO<sub>2</sub> 等の温室効果ガス排出量をプロジェクト毎に把握し、G X マスバランス方式（※2）を適用して任意の製品に割り当てた鉄鋼製品です。

### ※1：工事概要

工 事 名	緊急防災対策河川工事（鹿乗川 1 号工）（週休 2 日）
工 事 場 所	安城市小川町地内
工 事 内 容	鋼単純合成鈑桁橋、橋長：39.3m

### ※2：G X マスバランス方式

鉄鋼メーカーが実施した追加性のある削減プロジェクトによる温室効果ガス排出削減量又は CO<sub>2</sub> 排出削減量を組織内でプールし、その削減実績量を任意の製品に配賦して削減証書と共に製品を供給する方法です。取引先は、証明書に記載の温室効果ガス排出削減量を、取引先が算定する組織レベルの排出量（Scope3 category1）からの控除及び取引先が算定する製品レベルでの上流排出量からの控除として報告することができるとされています。

(参考 1) 「NSCarbolex Neutral」 について

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/neutral/>



(参考 2)

完成イメージ図

